

きゅうみつかいどうしょうがっこうほんかん

旧水海道小学校本館

ねん 組 番
年 組 番

なまえ ()
名前 ()

いばらきけん していぶんかざい たいせつ ほそん
茨城県の指定文化財(大切に保存するもの)
とうろく
に登録されています。



① きゅうもぎけじゅうたく げんろくねんかん やく ねんまえ こみんか きゅううしほりまち いま し
旧茂木家住宅は、元禄年間(約 年前)の古民家で、旧牛堀町(今の 市)
にありました。す
住んでいたのは、()など、むら せわやく おこな ひと
村の世話役を行っていた人です。

② そとがわ ちゅうもく
【外側に注目しよう！】
きづ こと か
気付いた事を書いてみましょう。

やね
屋根は・・・

かべ と
壁や戸は・・・

どだい はしら した
土台(柱の下)は・・・

③【内側に注目しよう！】

気付いた事を書いてみましょう。

ゆか あしもと 床(足元)は・・・	はしら てんじょう 柱や天井は・・・	その他・・・

④ 旧茂木家住宅についてまとめよう

■ 屋根は、ススキなどの仲間の()という植物でできています。

このようなつくりを()屋根といいます。

■ 壁は()で、戸や窓は()でできています。

■ 柱には、「手斧」という道具でけずった()があります。

■ 土台(柱の下)には()が置かれており、すき間ができています。

◎ これらは、夏に湿気が多いという日本の()に合った特ちょうです。

■ ~~床や土台は、ススキなどの植物でできています。~~

■ 木の板が敷かれている所の中心には()があります。

■ ()でできている所を()といいます。ここには、()
などがあり、食事を作るために煮炊きが行われていました。

■ 旧茂木家住宅の中で最大の特ちょうは()が無いことです。

このような家のつくりを()建てといいます。